

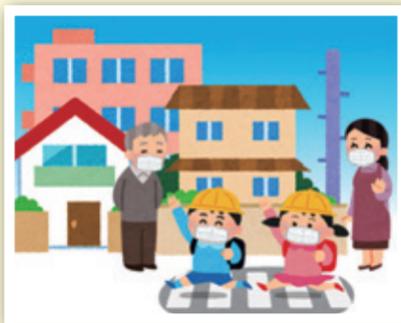


平野区では“多世代交流”をキーワードに 人と人との「つながり」や「きずな」を大切にしています

多世代交流のススメ

これまで、皆様のお住まいの地域において、地域活動協議会をはじめ各種団体等のご尽力により、防災訓練やお祭り、こどもの登下校の見守り活動など、様々な場面で世代を越えた交流が進められてきました。これらの交流は、こどもにとっては、孤独緩和・社会性の習得・思いやりの心の醸成、高齢者にとっては、社会参画・認知症の予防・生きがいや楽しみになります。

現在、新型コロナウイルス感染症の影響で困難な面もありますが、様々な世代の人が、一緒に活動したり話をしたりすることは、地域の様々な課題の解決につながります。



多世代交流についてはこちら

問合せ 政策推進課(政策推進)②番窓口 ☎4302-9683

区長メッセージ

この間の新型コロナウイルス感染症対策にあたり、多大なご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

このような状況にある今、これまで以上に人とのつながりは重要性を増しています。従来の交流も大切にしつつ、「新しい生活様式」も前向きに取り入れることで、多世代交流が新たな形で進み、皆様のお住まいの地域における「つながり」や「きずな」がより一層強固になるのではと考えております。

皆様ご自身や大切な人を守るために、そして、皆様の健康を支える医療を守るために、引き続き、適切な感染予防に努めてくださいますようお願い申し上げます。



平野区長
稲嶺一夫

只今、出水期! 日々の備えが大切です!

梅雨、台風や豪雨等、降水量が多く、洪水が発生しやすい時期となっています。ここ数年、各地では想定外の被害が発生しており、事前の準備が大切です。災害に対する備えを見直してみませんか?

ご自宅や会社のある地域の浸水想定を調べてみる

ネット検索でハザードマップを見る

大阪市 ハザードマップ 検索

避難情報の「警戒レベル」を確認する

大阪市HPを見る (QRコード)



近くの避難所を確認する

防災マップを見る (QRコード)



日ごろからの備えについて

平野区HPを見る (QRコード)



問合せ 安全安心まちづくり課②番窓口 ☎4302-9734

パッククッキング第二弾 (セタそうめん)

-災害時にも役立つ調理法のご紹介-

パッククッキングとは、ポリ袋に材料を入れ、湯せんなどで加熱して料理する方法です。カセットコンロ、鍋、水、ポリ袋があれば調理可能なので、いざというときにも役立ちます。日常生活でも節水、時短、洗い物が少なくなるなどうれしいメリットがいっぱいです!

調理例 パッククッキングで簡単煮込みそうめん

今回は夏にぴったり、2、3年備蓄可能なそうめんのパッククッキング例をご紹介します。

【材料(1人前)】

そうめん…50g
めんつゆ…大さじ1
水…400g

【作り方】

①材料をすべて袋に入れて、麺で袋が破れないように注意しながら結ぶ。
②①を15分間湯せんする

ちょびり

アレンジ セタそうめん

できた煮込みそうめんには切ったオクラやトマト、星形にした人参を加えたり、いろいろな色のそうめんを使うと、セタそうめん!



注意

- ポリ袋は、厚さは0.01mm以上の食品用または高密度のものを使う。
- 湯せんする際はポリ袋に火がつく、溶けるなどを防止するため、お湯の中に袋を入れてください。
- 調理する際はやけどに十分ご注意ください。
- 一つの鍋に入れるポリ袋は三つまで
- 空気を抜きながら高い位置で結ぶのがポイント!

問合せ 安全安心まちづくり課②番窓口 ☎4302-9734